

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2023年
11月15日

No.215

かすかの
写真募集中

12月 3月

定例会は
年に4回

9月 6月

令和 5 年

9月 定例会

もくじ

- 2 令和4年度決算認定
- 5 すべての議案の議決結果
- 6 9月定例会での議案審査
- 10 15人の議員が一般質問
- 15 定例会の視点・論点
- 16 議会報告会の開催

やました としひろ
応募者 山下 敏博さん
撮影場所 下白水北公民館
応募者の紹介はP15へ





委員会の審査では、各事業の決算内容について、さまざまな質疑が行われました。
ここでは、その一部をお知らせします。



財政調整基金は

問 財政調整基金はどの程度を目安にしているか。

答 例年28億円程度を計上し、標準財政規模に対する割合としては13.8%である。本市は、筑紫地区の他市と比べて災害が発生しにくいこともあり、この割合となっている。

公園施設改築・更新事業は

問 撤去の数と新しく設置する数に差があるが、公園に遊具施設を新しく設置していかないという方針なのか。

答 撤去数は単体の遊具を撤去したもので、設置は一つの遊具が大きく、色々な遊び方ができる複合遊具を設置している。

小中学校教育用ICT支援事業は

問 MEXCBT(メクビット)は丸付けをする必要がないと聞いているが、そういったことで教員の働き方改革にも資するものだと考えるが、いかがか。

答 教員は丸付けや集計などの必要がなく、補充学習等の対策に移れるので、非常に効果は高いと考えている。順次このような形で、教員の働き方改革と児童生徒への手厚い支援という二つの側面からICT化が進められていくものと考えている。

議会費は2億5,900万円

(主な項目と決算額)

- ・議員報酬(20人).....1億1,409万円
- ・期末手当(20人).....3,653万円
- ・政務活動費(議員一人当たり1万2,500円/月額) 296万円
- ・費用弁償.....124万円
- ・議会だよりの作成(年4回).....220万円

議会の予算は、このようになっています。内訳に記載しているのは、主な項目です。



各討論はこちら

吉居 恭子 議員 **反対**

令和4年度末の基金積立残高予想額より24億6千万円も多く積み立てるなど、コロナ終息途上の物価高騰という市民の非常事態に心を砕き、全力で対処することなく、平時と同じような財政運営を行ったと考えざるを得ないので、決算認定に反対である。

米丸 貴浩 議員 **賛成**

新型コロナウイルス予防接種体制整備や子ども応援給付金の給付など、感染症対策や物価高騰の影響を受けた市民への支援策を展開。社会情勢の変化に柔軟に対応しつつ、本市の課題に向けた的確な予算措置と適正な予算執行が行われている。



医療的ケア児保育支援事業は

問 今後も訪問看護ステーションの看護師でこの事業を進めていくのか。

答 看護師の雇用に至らなかったため、訪問看護ステーションに業務委託しているが、看護師の募集は続けており、市としては看護師採用を軸に考えたい。

生活困窮者自立支援事業は

問 事業を行うにあたっては、地域の様々な社会資源の活用が必要だと考えるが、地域の社会資源、事業所の協力は進んだか。

答 事業を委託している事業所が、就労訓練を行う場所などを確保し、そこで訓練等を実施することができていることから、うまくいっていると考えている。

市民図書館指定管理事業は

問 電子書籍は高齢者、障がい者にとっても、非常に助かるものであるが、電子書籍の蔵書数の傾向としては増えているか。

答 電子書籍の蔵書数は、増える傾向である。導入した令和2年度は811点で、令和4年度で2,259点まで増やしている。これからの電子書籍の市場も見ながら揃えていくことが必要と考えている。

令和4年度

一般会計決算をチェック!

9月定例会では、決算審査特別委員会(内野明浩委員長)を設置し、令和4年度一般会計の決算審査を行いました。

委員会では、「決算書」や「主要な施策の成果」などの資料を基に、慎重に審査を行い、採決の結果、賛成多数で決算を認定しました。

令和4年度一般会計 決算状況

黒字

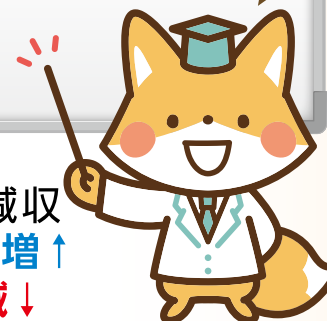
歳入総額 410億2,733万円
(前年度比約30億円減)

歳出総額 395億4,454万円
(前年度比約20億円増)
翌年度に繰り越すべき財源 1億9,822万円

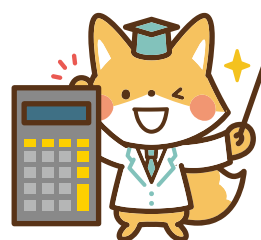
実質収支額 12億8,458万円

認定

決算審査特別委員会は、議会選出の監査委員を除く19人の議員で構成されています。



歳入・歳出の
主な内容
を見てみると



歳入

29億7,281万9千円の減収

- ・地方交付税および繰越金などは**増↑**
- ・国庫支出金および市債などは**減↓**

	区 分	金 額
増額要因	地方交付税	1億4,158万7千円
	繰越金	3億4,094万2千円
減額要因	国庫支出金	▲25億772万2千円
	市債	▲12億1,130万円

歳出

19億7,627万6千円の減

	目的別	金 額	主 な 内 容
増額要因	総務費	5億7,691万6千円	電子計算機器等管理運営費
減額要因	民生費	▲9億5,218万1千円	国の臨時特別給付金事業費
	教育費	▲9億3,689万5千円	小学校施設整備事業費
			温水プール大規模改修事業費
	土木費	▲8億6,626万8千円	大和市営住宅建替事業費 西鉄春日原駅周辺事業費

一般会計決算を
チェック！

議決結果

議案審査

議案審査

一般質問

一般質問

一般質問／意見交換会
提議承認 意見書 きっかけ あなたの声

議案の内容は
こちら

9月定例会 議決結果一覧

令和5年第3回(9月)定例会 件名	掲載 ページ	議決 結果	賛成	反対	公明党					創政会			嘉 会		翔 春 会		春 令 会		さんかく 春日		会派に所属 しない議員				
					◎	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	中村 孝三	吉居 恭志	田中 隆志	安部 仰博	有村 博
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	7	原案可決	16	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	●	
廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	9	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
都市公園条例	7	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
春日まちづくり支援センター条例	9	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和5年度 一般会計補正予算(第7号)	6	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和5年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	8	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和5年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	8	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和5年度 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	8	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和5年度 下水道事業会計補正予算(第1号)	6	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和4年度 一般会計歳入歳出決算認定	2	認定	16	1	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	
令和4年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和4年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和4年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	4	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和4年度 筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定	-	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
令和4年度 下水道事業会計収入支出決算認定	4	認定	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
総合スポーツセンターメインアリーナの床面の破損による事故についての和解	9	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
児童センターの指定管理者の指定	-	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
春日西多目的広場公園の区域外設置に関する協議	7	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
市道路線の認定	-	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
委託契約の締結(ふれあい文化センタースプリングホール舞台照明設備更新業務)	-	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
提議 出員	決算審査特別委員会の設置	-	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専決 処分	令和5年度 一般会計補正予算(第6号)	6	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	公用車による交通事故に伴う損害賠償の額の決定	-	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
意見 書	教育予算の拡充等を求める意見書	15	原案可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	消費税インボイス制度の実施中止又は延期を求める意見書	15	原案否決	3	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	○	●	○	
報告 事項	令和4年度春日市健全化判断比率について(令和5年9月1日受理)																								
	令和4年度春日市資金不足比率について(令和5年9月1日受理)																								
陳情	健康保険証の存続を求める意見書採択についての陳情書(送付先:市民共生委員会)																								
	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情書(送付先:総務企画委員会)																								

※中原智昭議員(春陽会)は議長職のため、表決権はありません。

※原克巳議員は監査委員のため、一般会計決算の審査に加わっていません。

※◎は会派代表者(○賛成 ●反対) ※欠は欠席者

特別会計・事業会計
決算状況

各特別会計・事業会計の審査が付託された常任委員会において行われ、すべての決算を認定しました。

市民共生委員会

国民健康保険事業

認定

市民共生委員会

介護保険事業

認定

ポイント【増額要因】

本市においては、平成30年度以降、決算補填目的分の繰入れをせず、健全な財政運営に努めている。国保財政を安定的に運営していくためには、原則必要な支出を保険税や国庫負担金等で賄うことにより、会計上収支が拮抗していることが重要であるとされており、引き続き財政収支の改善を図ってきたい。

歳入

103億779万2,160円
(前年度比0.9%減)

歳出

101億8,514万5,743円
(前年度比0.3%増)

問

特定検診は継続して受診してもらうこと、経年経過を見ていくことが大事だと考えるが、特定検診の継続受診率は把握しているのか。

答

令和2年度から3年度の継続受診率が65.5%である。継続した受診で、自分の体の経年変化をメンテナンスし、意識の変容と行動変容を起こしてもらうことが大事だと考える。

市民共生委員会

後期高齢者医療事業

認定

歳入

16億3,720万3,217円(前年度比4.7%増)

歳出

15億6,464万6,617円(前年度比5.0%増)

総務企画委員会

下水道事業

認定

【令和4年度の主な事業】

・下水道施設長寿命化事業として、雨水、汚水施設の調査業務及び改築工事を実施。

・下水道事業計画(雨水)に基づく浸水対策施設築造事業として、小倉第1雨水幹線の側壁改良工事を実施。

収益的収入

22億9,665万8,951円(前年度比3.03%減)
(下水道使用料等が減少したことによる)

収益的支出

18億6,408万7,162円(前年度比1.43%増)
(消費税及び地方消費税が増加したことによる)

資本的収入

4億4,426万6,688円(前年度比60.3%減)

資本的支出

14億7,831万876円(前年度比30.2%減)
(小倉第3雨水貯留施設築造工事の完了による)

問

令和4年度決算としては心配ないようであるが、老朽化が進行し、財政に対する影響が出てくると思う。今後の計画はどうか。

答

平成10年度に225億円あった企業債残高が、現在は91億円となった。今後も健全で安定した運営を行ってきたい。

5

かすが議会だより 2023年11月15日

215号

かすが議会だより

4

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

他の行政機関等から特定個人情報の提供を受けることにより 行政事務を効率化

追加された、個人番号が利用できる事務

- 健康増進事業の実施に関する事務であって規則で定めるもの
- 特定健康診査の実施に関する事務であって規則で定めるもの



本会議での
各討論はこちら



本会議での
討論

吉居 恭子 議員 **反対**

マイナンバーカードに様々な個人情報が紐付けされることで、銀行口座やマイナ保険証に関するトラブルが、次々と明らかになる中、政府の総点検と検証も終わらないうちに拙速に進めれば、各地で見られる住民の個人情報漏洩のリスクをさらに増幅し、一層の混乱を招く恐れがある。

有村 博 議員 **反対**

利便性や効率性の向上は、個人情報の保護、制度設計や運用面での確実性、安全性の確保と両立して、行われるべき。マイナンバー制度や運用について多くの懸念が残る現状、個人番号や個人情報の利用の範囲の拡大は慎重に進める必要がある。

高橋 裕子 議員 **賛成**

マイナンバー制度に健康に関する事務が追加され公費負担医療制度等の特定個人情報の範囲に所要の規定の整備が図られた。これにより申請手続きに必要な証明書等の添付書類が省略でき市民の利便性が向上し行政手続きのオンライン化につながる。

都市公園条例の一部改正

春日西多目的広場公園を新たに整備 春日西多目的広場公園の多目的広場を有料公園施設へ

- 新しい公園 春日西多目的広場公園(白水ヶ丘6丁目122番地)
- 有料施設 春日西多目的広場公園多目的広場
- 使用料 1時間当たり 1,100円
(使用者のうち市民等以外の者が半数を超える場合は、2,200円)

問 都市公園として位置付ける理由は何か。

答 条例により都市公園として位置付け、また、都市計画決定を行うことで、国の補助金を活用することができる。



春日西多目的広場公園の区域外設置に関する協議

春日西多目的広場公園の一部を 市の区域外(那珂川市)に 設置することの協議

- 設置及び維持管理に要する経費は、春日市の負担。
- 施設は、那珂川市の住民の利用に供することができる。



春日西多目的広場公園

令和5年度一般会計補正予算(第7号)

■補正額 15億139万2千円増
■歳入歳出総額 389億3,377万2千円



補正の主な内容

- ◆公共施設等整備基金積立金 4億1,600万円 増額
- ◆財政調整基金積立金 1億8,500万円 増額
- ◆新型コロナウイルス予防接種費 2億870万9千円 増額
- ◆都市緑地保全等基金積立金 3億1,512万円 増額

問 地域活性化起業人制度の活用で、どのような効果を期待しているのか。

答 本制度の導入を考えた理由は、他団体においてDX推進の実績が多数あること、また、民間の専門人材の受け入れにより、職員に対して『そもそもこの手続きが必要なのか』『業務を一から見直す』といった気付きを与えることができるためである。

問 かすがの郷用地払下げ事業費について、市で土地を所有し、借地を貸し付けるという考えはなかったのか。

答 市内にあるその他の特別養護老人ホームを運営する2法人は、自ら土地を取得して整備を行っている。その点を踏まえると、まずは払い下げが優先されるべきと考え、不動産鑑定のための予算を計上したところである。

令和5年度一般会計補正予算(第6号)

■補正額 0千円
■歳入歳出総額 374億3,238万円



(歳出補正の内訳)
予備費 ▲374千円
情報公開・個人情報保護費 374千円

情報公開一部開示決定取消し訴訟に係る訴訟事務委託料 のための予算を計上

問 訴訟の内容はどのようなものか。

答 指定管理者の収支計画書や収支報告書についての情報公開請求である。特定の指定管理者についてではなく、指定管理者全てに対してである。

令和5年度下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入 1,198万4千円増額 → 総額 23億2,675万7千円
収益的支出 575万9千円増額 → 総額 18億7,097万2千円
資本的収入 1,346万8千円減額 → 総額 4億985万1千円
資本的支出 132万2千円減額 → 総額 14億5,069万1千円



廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正

ゴミ袋の、陶器・金属類専用袋(小)及び
ペットボトル・白色トレイ専用袋(大)の追加



現在の春日市指定陶器・金属類、
ペットボトル・白色トレイ専用袋(ゴミ袋)

令和6年4月1日からの、家庭系廃棄物に係る処理手数料
の細分化等に関し、所要の規定の整備を図るもの

【追加されるゴミ袋】

- 陶器・金属類専用袋(小)……………5枚当たり75円
(市指定のポリ袋。15リットル相当)
- ペットボトル・白色トレイ専用袋(大)…5枚当たり112円
(市指定のポリ袋。45リットル相当)

問 家庭系廃棄物に係る処理手数料の細分化によ
り、廃棄物の発生の抑制や、再生利用の促進等
による廃棄物の減量にどの程度効果があるか。

答 全てが有料化の影響かは不明であるが、
平成18年度からゴミ袋の有料化を行い、
有料化後は基本的に減少傾向にある。

総合スポーツセンターメインアリーナの床面の破損による事故についての和解

春日市総合スポーツセンターメインアリーナの
床面の破損による事故についての和解



市負担額の合計487万3,197円

【詳細】

項目	全体額	春日市負担額	指定管理者負担額
施設の床面の修繕工事に係る費用	669万3,500円	334万6,750円	334万6,750円
施設の利用者が負傷したことに対する 治療費、賠償金等	69万3,003円	34万6,501円	34万6,502円
施設の利用を停止した期間において 生じた指定管理者の逸失利益	117万9,946円	117万9,946円	0円

問 事故発生から和解に
至るまで時間を要し
たのは何故か。

答 原因究明を優先させた事。また、指定管理者に全額負担を求め
る交渉をしていたが、交渉の過程で市と指定管理者との負担
率の協議に移り、その交渉にさらに時間を要した。

春日まちづくり支援センター条例の制定

協働のまちづくりのため、交流の支援等の拠点としての
春日まちづくり支援センターを設置



市民公益活動の推進を図り、市民が主体的にまちづくりに参画することができる協働の
まちづくりの実現に寄与するため、春日まちづくり支援センターを設置するもの

令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

- 補正額 4,716万円増
- 歳入歳出総額 103億9,048万1千円



補正の主な内容

- 【歳入】
◆国民健康保険事業費納付金等支払準備基金繰入金 81,308千円 減額
- 【歳出】
◆電子計算機器等管理運営費 21,234千円 増額

出産育児一時金とは

出産は、個人の金銭的負担が重くなる場合があります。
出産育児一時金制度とは、出産に関する個人の負担を軽
減するために、公的医療保険(健康保険や国民健康保険な
ど)から出産時に一定の金額が支給される制度です。
その支給額については、令和5年4月より、50万円に
引き上げられました。



令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

- 補正額 1,044万円増
- 歳入歳出総額 16億6,692万円



補正の主な内容

- 【歳入】
◆後期高齢者医療保険料 61,115千円 減額
- 【歳出】
◆後期高齢者医療広域連合納付金 7,838千円 増額

令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

- 補正額 8,039万円増
- 歳入歳出総額 77億7,087万円




補正の主な内容


- 【歳入】
◆保険者機能強化推進交付金 7,028千円 減額
- 【歳出】
◆介護給付費準備基金積立金 39,828千円 増額

基本目標2

通学路での児童生徒の
安全を守るには



よねまる たかひろ
米丸 貴浩 議員



問 プログラムの効果をどう考えているか。

答 危険箇所の把握方法など運用面は必要に応じ見直しバージョンアップを図る必要がある。

問 見守り活動をされている方々の意見を取り入れた危険箇所リストアップへの見解は。

答 通学路の課題を把握している方々の意見は大変重要と認識している。

問 通学路安全確保における学校運営協議会の更なる活用への見解は。


答 意見集約の流れの見直しや時間の確保、効果的・効率的な議論方法など工夫ができないか研究する。




通過車両が多い朝の通学路

基本目標2

学校教育の充実について



さこ けん じ
迫 賢二 議員




問 教育現場の現状を打破するためには、変化を受けきれず、また変化を恐れて、出来ない理由を探す事より、まず基本に戻り、出来る事から、やってみるべきだと思う。学校教育を取り巻く様々な実態と、その改革に向けたマネジメントの現状と方向性は。

答 「まず基本に戻り、出来る事から、やってみるべきだ」との指摘、全く、同感である。子どもたちと、その教育を担う教員のためのセーフティネットづくりに、鋭意取り組んでまいりたい。




基本目標3

高齢者の外出を助ける
タクシー券の助成を



な す じゅんこ
奈須 純子 議員



問 全35公民館地区165名回答のアンケートを実施。コミュニティバスやよいの運行については関心度が高く様々な意見が寄せられた。利用促進の為、市民の声を反映させる目的とした協議会を作るお考えは。

答 現時点では考えていない。令和6年より70歳以上を無料にするので乗車増加を見込んでいる。

問 高齢者の外出を助ける施策として、利用が多いタクシー券助成の考えはあるのか。


答 費用面、他の施策との優先順位から現時点に於いて導入は困難と考えている。




コミュニティバス「やよい」

基本目標3

高齢者への支援の
取組について



さ とう まさゆき
佐藤 誠之 議員



問 認知症の人や家族を損害賠償保険で守る制度の導入について、見解は。

答 国の公的な救済制度が整備されない中、自治体独自で認知症高齢者に限った損害賠償保険制度を導入する場合は、課題整理と十分な議論が必要になる。国の動向を注視しながら研究したい。

問 介護職員初任者研修受講費の一部助成について、見解は。

答 助成制度実施自治体の調査から、人材確保の成果が見えないが、一つの手法として、今後も先進自治体の動向を注視したい。



ただいま！


一般質問


KASUGA

9月定例会では、15人の議員が市政に対する質問を行いました

第6次 総合計画 基本目標	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	基本目標5
	人と地域がつながり、豊かさにぎわいを生み出すまち	安心して子育てができ、子どもがすくすくと成長できるまち	みんなで支え合い、誰もが健やかにいきいきと暮らせるまち	良好な住環境の中で、安心して快適に暮らせるまち	持続可能で、市民から信頼される行政経営

いつでもどこでも

二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。



一般質問とは

議員がその所属する地方公共団体の執行機関に対し、

- ①事務の執行の状況や将来に対する方針などについて質したり、
- ②報告や説明を求めたり、
- ③疑問を質すことをいいます。

一般質問は、定例会に限って許され、臨時会ではできません。

また、質問は議案とは関係なく行政全般について認められます。

- ・「回数制」は3回まで質問ができます。令和3年3月定例会から、答弁も含め60分以内に終わらせるよう努めています。
- ・「時間制」は議員が質問できる時間(持ち時間)は40分です。40分以内であれば、何度でも質問ができます。

※議会だよりにおける一般質問の原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

訂正

議会だより214号6ページに記載誤りがありました。表中、「船久信昭」議員となっておりますが、正しくは「船久保信昭」議員です。お詫びして、訂正いたします。

発言順	議員名	基本目標	質問項目	回数制/時間制	掲載ページ
1	迫 賢二	2	学校教育の充実について	回数制	11
2	米丸 貴浩	2	通学路の安全確保と環境整備について	時間制	11
3	佐藤 誠之	3	高齢者への支援の取組について	回数制	11
4	奈須 純子	3	高齢者の生きる力を保つための施策について	時間制	11
5	高橋 裕子	3	健康施策について	回数制	12
		4	下水道の重要性を周知する取組について	回数制	12
6	原 克巳	3	共生社会の実現に向けた取組について	回数制	12
7	安部 仰	2	金融教育について	回数制	12
8	船久保信昭	2	不登校と子どもの発達・発達との関係について	時間制	12
9	西川 文代	2	「子育てするなら春日市へ」を市民がより実感できる取組の推進について	時間制	13
		1	小中学校多目的ホールの地域開放時における運用について	時間制	13
10	中村 孝三	3	第6次春日市総合計画の中にある高齢者支援の充実について	時間制	13
		5	効率的な行政運営について	時間制	13
11	田中 隆志	2	小中学校における情報化社会への対応について	時間制	13
12	吉居 恭子	5	物価高騰で疲弊した市民生活への支援策について	時間制	13
		4	ゼロカーボンシティ宣言をはじめとする環境対策について	時間制	-
		2	放課後児童クラブのおやつ代の行方について	時間制	13
13	有村 博	4	春日市の気候危機対策及び、環境対策、防災対策について	回数制	14
		3	春日市におけるパートナーシップ制度について	回数制	14
14	森山 五月	2	学校教育について	回数制	14
15	西村 澄子	2	高校通学定期券購入支援事業について	時間制	14

基本目標3
基本目標5

高齢者支援と効率的な
行政運営について



なかむら こうぞう
中村 孝三 議員

問 高齢者の孤立が社会問題になっている、孤立防ぐ仕組み制度が必要と考える。

答 住宅セーフティネット法に基づき居住支援を行う。

問 身寄りのない高齢者支援強化、安心して老後を迎えられる社会を作るのが政治の責任である。

答 地域共存社会の拠点整備、更なる充実を図る。

問 人口減少に連動して税収が減少、自主財源の確保が重要になる。陸上自衛隊駐屯地の移転(跡地利用)の考えはないか。

答 税収など経済的側面のみで移転を議論すべきでない。



基本目標2
基本目標1

子育てのしやすさと
多目的ホールの今後は



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員

問 子育てのしやすさを明確にアピールできる取組の推進、それを大きなシティプロモーションにつなげることが重要だと考えるが見解は。

答 子育て支援策に限らず市の魅力を積極的に市内外にPRし、人口流出抑制と人口増加を図る事は重要だと捉え全庁的な取組として進める。

問 多目的ホールの地域開放の今後の方向性は。

答 敬老会利用では環境や運用方法を整備する。

問 一般利用についての更なる利用の可能性は。

答 これまでにない目的での開放の可能性も広げる。



基本目標3

共生社会の実現に
向けた取組について



はら かつみ
原 克巳 議員

問 手話言語条例を制定するべきと考える。

答 現時点で制定する考えはないが、今後も手話の普及や環境整備に努めたい。

問 視覚に障がいのある方のために市が発行する印刷物に音声コードを記載してはどうか。

答 音声コードの掲載が効果的と思われる文書等について研究したい。



問 市役所に来庁された聴力に障がいのある方との意思疎通のため、軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか。

答 他自治体の活用状況、効果等の情報を収集し導入について検討したい。



基本目標3
基本目標4

糖尿病重症化・身体的
フレイル予防の考えは



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員

問 国保加入者の透析患者数と透析に係った医療費は。

答 令和5年2月レセプト審査によると45人で、令和4年度医療費は2億6,130万円。

問 要支援・要介護になった約23%は関節疾患や骨折・転倒が原因。よって骨粗しょう症検診も女性特有のガン検診と同様に個別検診ができないか。

答 検診受診の周知に努め個別検診は研究する。

問 下水道事業の重要性を周知する取組については。

答 市ウェブサイトの掲載内容の見直しや環境フェアにブースを設け周知を行う。





今定例会の一般質問は15人です

全21項目の一覧は10ページへ

基本目標5
基本目標2

18歳まで医療費無償化と
おやつ代差額返金は



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員

問 18歳までの医療費無償化は、令和6年からとのことだが4月から実施と考えてよいか。

答 各医療証の更新時期に合わせて、制度改正の時期は令和6年10月を予定している。

問 放課後児童クラブのおやつ代残額の200万円余りは保護者に返金されているのか。

答 おやつ代の合計額と、おやつ購入に充てた費用総額との差額が生じた場合であっても、保護者に返金するようにはなっていない。



基本目標2

小中学校での情報化
社会への対応について



た なか たかし
田中 隆志 議員

問 小中学校での情報リテラシー教育等への取組は。

答 外部講師を招き年1, 2回実施。参観日やライブ配信等で実施し、保護者等の関心も得るようにしている。保護者等の協力も必要不可欠であり、啓発チラシ配布や講演会も実施している。教職員には動画視聴等にて研修を実施している。情報モラル教育、情報リテラシー教育、ICT機器の利活用を前提としたデジタル・シティズンシップ教育も必要と考えており、段階を追って進めている。



基本目標2

子どもの発育・発達の
関係について



ふな く ぼ のぶあき
船久保 信昭 議員

問 視機能は6歳程度までの治療開始で効果が高いが小学校の入学前検診でフォトスクリナー検査の導入は。

答 検査は望ましいが機器が高額であり市教育委員会で購入は難しい。

問 脳や視機能の発達の仕組みと、その阻害要因の例示のチラシで未就学児、児童生徒やその保護者へ健全な発育の普及啓発しては。

答 必要性を強く感じ同じ危機感を持つ行政部署、園、学校等で取り組んでいくべき一つで、普及啓発も含め何らかの形で実施していく必要がある。



基本目標2

金融教育について



あ べ あおぐ
安部 仰 議員

問 新たな指導要領に基づき導入された金融教育は今後大変重要な課題と言える。低金利、物価上昇が懸念される中、人生100年時代のゆとりある老後生活を営むためには、個人での資産形成はもはや不可避免であると考えているが、本市の取り組みを教えてください。

答 学校カリキュラムは過密状態にあり余裕がないのが現状。出前講座などで金融商品を含む消費者トラブルの未然防止と救済に力を入れた取り組みを続けることで、その下支えとしたいと考える。



令和5年第3回春日市議会
9月定例会の

視点・論点

1 一般質問について

15名の議員が多様な視点から行ったことは、議会の活性化という意味では評価に値すると考える。
一方で、6月定例会に続き、2日間の日程のいずれも会議時間を超過したことについては、時間短縮を含めた総合的な検討が必要である。
前置き、自身の所感など質問以外の部分にボリュームを持たせて冗長となり、論点が不明瞭になるケースも見受けられた。
質問の質を高め、簡潔で分かりやすい質問となるよう、議員間で勉強会を行い、論旨を明確にすることをを行うようにする。また、回数制、時間制共に発言時間・項目数の見直しを考えていく。

2 討論について

・試行で5分の時間制限を設けたが、的確な視点で論じられ、従来の時間制限無しと比べ、非常にわかりやすかった。
・当初予算や決算は議案のボリュームが大きく、もう少し時間が長くていいのではないかと。来年3月の当初予算審査まで試行を継続し検証する。
・議会における「討論」とは、お互いに議論を交わし合うことではなく、賛否双方の立場から相互にその主張を述べることにし、自身と反対の意思を有する議員に同調を求めることである。反対意見を攻撃するのではなく、あくまでも議員各位の共感をよび、賛同を得るに値する、明確な自身の考えを述べていくものとし、今後もより良い討論に努めていきたい。

地方自治法の規定に基づき、春日市の公益に関する意見書を国に提出しました。

第4号意見書案

教育予算の拡充等を求める意見書

全員賛成
可決



意見書の
全文はこちら



【提出者】内野 明浩 議員

【要 旨】医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、さまざまな障がいのある児童生徒に的確に対応した教育の実現に向け、特別支援学校・学級等への教員等の配置について、地域の実情を考慮した適切な必要数を確保するために、財政措置を含めた特段の措置を講じることを求める。

第5号意見書案

消費税インボイス制度の実施中止又は延期を求める意見書

賛成少数
否決

きかせて！あなたの声 市民の皆さんにお聞きます vol.15

遊びの種を蒔く

様々な方々との出会いから、お手伝いをしていく中で仲間が増えていき、30名ほどのサークルとなりました。お互いの情報を渡し合い、こだまが帰ってくる感覚です。蕎麦打ちを通して、新たな交流が出来る、面白がれる道場になり、コミュニティの場が広がると嬉しいです。

春日市のここが好き

コンパクトな市なので、自分の息遣いを通して感覚があります。

春日市議会のここに期待します

議会は行政のチェック機能を持っているので、議会の独自性を発揮し動いていただきたいです。



下白水北そば道場
やました としひろ
山下 敏博さん（下白水北在住）

基本目標 2

学校教育について

もりやま さつき
森山 五月 議員

問 児童生徒の自殺防止や精神不調の早期発見、課題解決にもつながる「RAMPS」活用が重要かと考えるが見解は。

答 健康観察、教育相談システムに関連した経費が予算化されることが期待される。これらの国の動向を注視しながら、タブレット端末で使用している授業支援ソフトや、令和7年度に導入を予定している統合型校務支援システムとの連携や親和性も考慮に入れながら、効果的、効率的なシステムについて研究してまいりたい。



全21項目の一覧は10ページへ

手をつなぐ育成会との意見交換会開催

8月21日、手をつなぐ育成会との意見交換を行いました。議会に伝えたい、春日市に向けた、たくさんの想いをいただきました。

手をつなぐ育成会と市民共生委員会で、「春日市中央部市民活動交流拠点複合施設について」、また「障がいのある方が安心して暮らせるための福祉サービスについて」など、多岐にわたって意見が交わされ、切実に語られる現状の課題から、春日市の展望までとても貴重な時間を過ごす事ができました。

今回の意見交換会の内容は委員会として課題を認識し、今後活かしてまいります。



基本目標 4
基本目標 3

気候危機対策と パートナーシップ制度

ありむら ひろし
有村 博 議員

問 樹木と、芝生や花壇の緑被率は同じか。

答 緑被率は同じ。

問 気候危機対策や環境対策も踏まえた整備について、前向きに検討する考えは。

答 解決に向けて取り組んでいかなければならない。

問 パートナーシップ制度や条例の制定に、取り組む必要があると考えか。

答 国の法整備の進捗を注視している。

問 福岡県パートナーシップ宣誓制度について、当事者の利用しやすい情報発信の拡充に取り組む考えは。

答 検討したい。



基本目標 2

高校通学定期券 購入支援事業



にしむら すみこ
西村 澄子 議員



問 市内の高校生のほとんどが、市外の高校に通学している。通学環境への支援、生活費の支援の観点から、定期券の購入費用に対し、補助金の半額助成の見解は。

答 現時点では助成を行う考えは持ち合わせてない。今後とも国・県や他団体の動向を慎重に見極め、子育てをしやすい環境づくりを進める。

問 独り親世帯から始めてはどうか。

答 来年度から18歳までの医療費無料化の準備も進めている。子育て世帯に対する補助の在り方を検討し支援を行う。



オンライン

議会報告会を開催します！

締切
間近!!

日時 令和5年11月18日(土)
午前10時から午前11時30分

内容 1部 委員会の活動報告
2部 意見交換会



総務企画委員会

持続可能な自治体経営について

市民共生委員会

市民が健やかで、支えあって暮らすまちづくりについて

こども文教委員会

切れ目のない子ども・子育て支援について

定員 30名

申込締切 令和5年11月15日(水)

注意

- ・開催の3日前に申込時のアドレスへZoom参加用のURL・ID・パスワードを送信します。
- ・事前にオンライン会議「Zoom」をパソコン・スマートフォン等にインストールしてご参加ください。

申込方法

下記の二次元バーコードから申込みください。



KASUGA

会期日程 令和5年12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
					本会議 (提案説明) 議会運営委	
3	4	5	6	7	8	9
		本会議	常任委員会 (審査)	常任委員会 (審査) 広報特別委	常任委員会 (審査)	
10	11	12	13	14	15	16
		本会議 (一般質問)		常任委員会 (採決) 広報特別委	議会運営委 常任委員会	
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会	本会議 (採決)				

※日程は都合により変更になることがあります。

あなたの写真が表紙に!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。

次号216号
令和6年2月15日発行
12月8日
メ切



表紙応募方法の詳細はコチラ

いろいろ

これまで「編集後記」として掲載してきましたが、今回より我々広報特別委員会の委員が普段の議会活動、議員活動の中で感じた事を記す「いろいろ」のコーナーとさせて頂く運びとなりました。

委員それぞれの視点からみた春日市。市民の皆様とのふれあい、行事やお祭りの設営、こども食堂など様々な活動を通して感じる日々の喜び、またはエピソードをお届けできたらと考えております。

もっともつと皆様に寄り添い、親しみやすい「かすが議会だより」を創っていきたい。これからも、かすが議会だよりをよろしく願います。

安部

広報特別委員会

委員長 西村 澄子
副委員長 安部 仰昭
委員 中村 智昭
委員 有村 博

かすが議会だよりへご意見をお寄せください